



多数のものづくり企業が集まる大阪市大正区、港区、西淀川区では、その魅力を区内外に発信することで、区民や業界関係者、さらにはマスコミ等、様々な方面から注目を集めています。

令和4年度からは、新たに西淀川区が実行委員会に加わり、3区合同でオープンファクトリーを実施するなど、ものづくり企業のつながりはさらに広がりました。

当実行委員会の取組みは、“ものづくりのまち”を幅広くPRするとともに、ものづくり人材の育成や企業の課題解決にも直結し、企業の活性化、さらにはまちの活性化にも繋がっています。

2025年大阪・関西万博の「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジへの参画について



「共創チャレンジ」とは、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動のことです。

実行委員会では、「ものづくりフェスタ」や「オープンファクトリー」などの取組みを通じて、大阪・関西万博の開催PRを図るとともに、共創の輪を広げていきたいとの思いから、【ものづくり企業と共創する「夢・希望あふれるまちの未来」】をテーマとして、令和4年11月16日に「共創チャレンジ」に登録しました。

大阪市大正区、港区、西淀川区には様々な業種のものづくり企業が集積しています。このメリットを生かして、ものづくり企業とともに、ものづくり体験イベントなどの開催を通じて、まちの魅力向上やものづくり人材の育成等を図ることを目的に公民連携プロジェクトを継続的に展開しています。具体的には、「環境」「リサイクル」「健康・福祉」「SDGs」をテーマとしたイベントの開催や、工場見学と商店街での買い物をセットにしたまち歩きツアーなどを開催しています。

これらの取組を通じて、大阪・関西万博の開催PRを図るとともに共創の輪を広げていきたいとします。また、SDGs達成に貢献するとともに、ひとりひとりの「いのち」が輝き、区民がいきいきと暮らすことができる地域社会を創造していきたいとします。とりわけ、こどもたちが未来に夢や希望を持ってくらせる地域社会の実現に貢献していきたいとします。

中期三か年計画 令和2年度～令和4年度

【目標】

ものづくりのまちとしての独自ネットワークを活用し、産業振興や人材の育成を通じて、世界や日本の繁栄に貢献するまちづくりに寄与することをめざす。

計画	内容
1	独自のネットワークを生かすとともに、産学官、異業種連携等の促進を通じて、地域課題の解決を機として、世界にはばたく新たな産業の創出など産業振興に取り組む。
2	ものづくりのまちとして、人材の育成や子どもたちのゆめづくりに寄与する取組みを一層推進する。
3	各自の明確な役割分担のもと、持続可能な事業運営に向けたあり方を構築する。

計画 1

医工福連携事業

【実施概要】

これまで培ってきた独自のネットワークを活用し、地域課題の解決に向け新たな産業の創出をめざす事業です。

複数のものづくり企業等で構成された「りびんぐラボ大正・港」を起点に、地域医療機関や地域福祉機関などと連携し、ものづくりで医療現場にある課題だけでなく、地域課題の解決も図ります。

【大阪府済生会泉尾病院（大正区）との連携】

新型コロナウイルス感染症拡大防止用品「飛沫感染防止カバーフレーム」、「フェイスシールド」、「飛散防止テント」、「簡易防護服」、「ECMO（エクモ）搬送用架台」等、対応品を連携開発。

令和4年12月8日（木）大正区老人福祉センターにおいて副院長江口典孝氏による「大正区の死因第3位である誤嚥性肺炎について」講演

【呼吸筋力の測定】

兵庫医科大学リハビリテーション学部の玉木研究室と株式会社木幡計器製作所との共同研究に、実行委員会として協力。

呼吸筋力とは息を吸ったり吐いたりする力のことで、握力や脚力と同じように年代別の基準があります。大正区と神戸市で日本人における年代別の呼吸筋力基準値と基準範囲の再リファレンス化を図ります。

具体的には、大正区の UR 千島団地内にある、「ちしまメディカルパーク」や「大正区老人福祉センター」「大正産業会館」で呼吸筋力測定を実施しました。

おかげさまで、令和5年3月31日現在、大正区で945名、神戸市を合わせると1200名ほどの方にご協力をいただきました。

【大正ほけんしつ】

更年期女性を対象とした骨盤底筋体操の普及と、デバイス開発を行うスタートアップ企業である株式会社ジョコネ。と、ちしまメディカルパークを運営する阪神調剤薬局が連携して区民を対象とした健康イベント（セミナーや体験コーナーなど）を開催。また、ものづくりフェスタ2022で「腸活体操」を中心とした健康セミナーを開催しました。

計画 2

（1）大正ものづくりフェスタ2022～大阪・関西万博 SDG s を体験しよう～

「大正ものづくりフェスタ」は、大阪市大正区、港区のものづくり企業と学校、そして支援機関が、グループごとにワークショップを企画、出展を行い、子どもたちをはじめとした来場者に“作る”を体験してもらうことで“ものづくり”の素晴らしさを紹介する体験型のイベントです。

2013年に11月に初めて開催し、2017年からはさらに踏み込んだ5つの目標のもと開催しています。

《ものづくりフェスタ5つの目標》

- 1.区内企業の実態とニーズを把握する。
- 2.企業間交流、区民との交流をおしてものづくりのまちとしての一体感と誇りを高める。
- 3.ものづくりのまちとしてのブランド力を高め、継続的に情報発信する。
- 4.ものづくり人材の育成をおして区内企業の体力を強化する。
- 5.行政との連携と役割分担のもと、ものづくり企業による主体的なまちづくりとビジネス活動を実践する。

① 企画会議の開催

計8回開催。企業等26社、高校、支援機関11団体が参加。

②実施概要

日時 場所	令和4年12月3日(土) 10:00~16:00 (9:00~内覧会、9:45~開場) 大正区役所〔4階区民ホール、2階さわやか広場、駐車場ほか〕	
参加者	500名	
実施 主体 (順不同)	■ 出展(37団体)	
	チーム名： クイズDEリサイクル アートDEリサイクル	内容：“ものづくり”に関するクイズ。廃材を使ってアート作品の製作。 大和紙料株式会社、西村鐵工所、株式会社北浜化学、株式会社日本電機研究所、株式会社ユニティー、池田泉州銀行大阪西部法人オフィス、尼崎信用金庫大国町支店・港支店、株式会社池田鉄工所、学校法人清風明育社清風情報工科学院
	チーム名： チームSDGs	内容：楽しい工作体験。はじめてのスヌーズレン体験。 株式会社向商工、株式会社土井商店、山忠木材株式会社、有限会社飛鳥鉄工所、リビングラボ大正・港、滋賀医科大学、大阪商工会議所西支部、株式会社LIGHTSHIP、学校法人清風明育社清風情報工科学院
	チーム名： 街の製作者	内容：木材を使用しての“椅子”づくり。アスファルト(道路)づくり体験。 紀洋木材株式会社、中村工業株式会社、大林道路株式会社、大阪港湾局鶴町機械工場、大阪商業大学総合経営学部経営学科 池田ゼミ、A'ワーク創造館、大正・港エリア空き家活用協議会
	チーム名： しゃぼん玉研究所	内容：しゃぼん玉液の調合体験。不用品を使ったしゃぼん玉道具づくり。 鈴木合金株式会社、泉尾バルブ、有限会社南歯車製作所、株式会社木幡計器製作所、光機械工業株式会社、株式会社日本政策金融公庫大阪西支店、R&C株式会社、学校法人清風明育社清風情報工科学院
その他 ・SDGsで考える 10年先のまちを元気にする発明アイデア発表会 ・廃材(ペットボトルキャップ)を熱分解し、油へと変える「小型熱分解装置「KASHIN」(かしん)」の実演稼働(協力：(株)北浜化学) ■ 協賛企業 公益社団法人大阪市工業会連合会、株式会社向商工、鈴木合金株式会社、R&C株式会社、株式会社木幡計器製作所、大阪商業大学、株式会社大阪太平クリエイト、焼く鳥屋 おかもと大正店、尼崎信用金庫大国町支店・港支店、有限会社井浦組、有限会社三光製作所、並田機工株式会社、アクサ生命保険株式会社 (順不同)		



③記録集の発行



④参加者アンケートと出展者アンケート結果

- ・本日のイベントで、ものづくりの楽しさが伝わりましたか？
88.1%の参加者が「伝わった」と回答しました。
- ・本イベントは、区民と企業との連携に有効と思いますか？
84.1%の参加者が「有効と思う」と回答しました。
- ・大正区の住民と企業との連携に向けて、本イベントは有効と思いますか？
73%の出展者が「大変そう思う」と回答しました。
- ・ものづくりフェスタを通じて出展企業や来場企業との関係づくりについて
73%の出展者が「役立った」と回答しました。

(2) 大正・港・西淀川オープンファクトリー

令和4年度は、新たに西淀川区の企業が参画し、令和5年2月17日(金)・18日(土)の2日間にわたって規模を拡大して実施しました。

【実施概要】

開催日：令和5年2月17日(金)、18日(土)

参加者総数：98名

大阪市大正区、港区、西淀川区で操業する工場を一斉に開放し、普段見ることのできない迫力ある“ものづくり”の現場を見学するとともに、まち歩きツアーも実施するイベントです。

【参加企業】

2月17日(金)

- | | |
|--------------|---|
| 午前：大正区 A コース | 鈴木合金株式会社⇒千歳渡船場 |
| 大正区 B コース | 株式会社木幡計器製作所⇒平尾商店街 |
| 大正区 C コース | 中村工業株式会社⇒尻無川水門 |
| 西淀川区 A コース | 奥村機械製作株式会社⇒池永精機株式会社⇒姫嶋神社 |
| 西淀川区 B コース | 日本鏡板工業株式会社⇒株式会社ニッセイ・ニュークリエーション
⇒グリコ江崎記念館 |
| 午後：大正区 D コース | 大阪港湾局鶴町機械工場⇒IKEA 鶴浜 |
| 大正区 E コース | 有限会社飛鳥鉄工所⇒株式会社藤井組 |
| 西淀川区 C コース | 末広工業株式会社⇒フードテクノエンジニアリング株式会社 |

2月18日(土)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 午前：大正区 F コース | ヨリドコ大正メイキン&大正るつぽん⇒三泉商店街 |
| 大正区 G コース | 昭和山⇒山忠木材株式会社 |
| 大正区 H コース | 紀洋木材株式会社⇒昭和山 |
| 港区 A コース | 有限会社南歯車製作所⇒成光精密株式会社 |

【参加者の感想】

- ・各所に取り組まれる熱意を感じ、社会人、企業人の素晴らしさに触れました。未来ある子どもにもこのような見学の機会を頂くと働く事への憧れ興味が持てると思います。
- ・社長さんたちの熱意がすごい、町工場とはいえ技術力は世界に通じるものがある小さい部品がいとおしく感じました。
- ・自分が住んでいる地域にすばらしい企業があると認識できた。
- ・日本のものづくりの原点を見た気がします。面白かった！



大正・港・西淀川オープンファクトリーの様子

(2) 工場見学会

【実施概要】

工場見学に訪れる全国の小学校から高等学校の修学旅行をコーディネートするとともに、周辺校の課外授業の受け入れも行っています。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、修学旅行の実施が減少し、工場見学会の実施も減少しました。

実施日	カテゴリ	学校名と受入企業名	人数
6月21日(火)	修学旅行	高知県宿毛市立宿毛中学校 紀洋木材株式会社、大阪港湾局鶴町機械工場、 株式会社木幡計器製作所、ウツエバルブ株式 会社を見学	53名
6月24日(金)	ケーススタディゼミ	大阪大学経済学部 福井精機工業株式会社を見学	14名
10月6日(木)	修学旅行	島根県立松江南高等学校 株式会社木幡計器製作所、港湾局鶴町機械工 場、紀洋木材株式会社を見学	39名
11月17日(木)	修学旅行	高知県宿毛市立宿毛中学校 大阪港湾局鶴町機械工場、鈴木合金株式会社、 成光精密株式会社を見学	52名
1月18日(水)	研修旅行	長崎県立佐世保工業高校定時制 有限会社飛鳥鉄工所を見学	6名

【見学者の感想】

- ・ 船の洗浄の様子など、普段中々見られないことを見ることができて良かったです。
- ・ 作業の機械化があるけれど、それでも人の技術がいるということが印象に残った。
- ・ たくさんの木材が色々な国から輸送されていることが知れたし、木にもたくさんの役割があることが知れました。
- ・ 工場は作業がしやすいような環境で、みんな明るく優しく教えてくださったので、すごく良い環境だなと思いました。



(3) 大阪府立成城高校（定時制の課程）職業講話の実施

【実施概要】

開催日時：日時 令和5年2月22日（水曜日） 18時05分～19時35分

開催場所：大阪府立成城高等学校

テーマ：「働くことの意義について」

参加生徒：約20名

講話内容：

- ・株式会社木幡計器製作所（大正区） 代表取締役 木幡 巖
『自社（自分）の強みを見出すことで、企業も人生も変われることの重要性』
- ・有限会社南歯車製作所（港区） 代表取締役 南 仁
『どんな仕事も、一生懸命頑張れば面白くなる。目標を決めて頑張ろう。』
- ・鹿島化学金属株式会社（西淀川区） 代表取締役社長 鹿島 祐二
『人生や仕事は才能×努力×考え方として何事も前向きに努力することの大切さ』



(4) 大正ものづくりフェスタオンライン

令和2年度から令和3年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の発生により、日本国内、大阪府内でも感染者が激増したことから、感染拡大防止の観点によりオンライン(YouTube)による“大正ものづくりフェスタ”を開催しました。いつでも動画を視聴することができます。



◀ 大正ものづくりフェスタオンライン

●●● スペシャルコンテンツ.1 ●●●

おうちで！ とうがで！
ものづくりフェスタ!!!

ものづくりの楽しさやすばらしさを、今年は動画でお届けします！
ものづくりが好きな人！いろいろなことにチャレンジしてみたい子どもたち！
大人も子どもも楽しめる動画を**Youtube**で配信中！

なに作ろう？ Let's TRY!!

大人が本気でスマートボール作ってみた！
ものづくりフェスタチーム
スマートボールを作ってみよう！
工場から出る廃材を使って、大人が本気で工作にチャレンジ！

電気の力で針を動かそう！
ものづくりフェスタチーム
磁石とコイルで発電してみよう！
身近なものだけとかなかなか知ることのできない電気のヒミツ、教えます！

簡単！マスク&ボンチョ作り
有限会社リング
ゴミ袋ボンチョとキッチンペーパーマスクの作り方
みなさんの身近にあるもので、災害時に役に立つボンチョとマスクを作ります！



過去の「大正ものづくりフェスタの様子

計画 3

(1) 大正・港ものづくり事業実行委員会

中村工業株式会社、鹿島化学金属株式会社、有限会社南歯車製作所、株式会社アザマス、
一般財団法人大阪市コミュニティ協会大正区支部協議会、山忠木材株式会社、
株式会社池田鉄工所、大阪商工会議所 西支部、一般社団法人港まちづくり協議会大阪、
成光精密株式会社、株式会社木幡計器製作所、東亜成型株式会社、大正区役所、港区役所、
西淀川区役所

※下線は令和4年度加入の企業・区役所

これまでの主な成果

(1) ビジネス面

〔雇用関係〕

- ・大正ものづくりフェスタを通じて、出展企業へ地元高校生が就職。
- ・大学就職部へ区内企業の求人情報を提供したことで、区内企業に新卒者が就職。
- ・学校（進路担当者）との交流会で繋がりができたことにより新卒者が就職。
- ・合同面接会で（ハローワーク共催）採用を決定。
- ・UR 都市機構、大正・港ものづくり事業実行委員会で協定を結び、UR 賃貸住宅を社員寮として活用。
- ・インターンシップ生がそのまま受入企業へ就職。
- ・実行委員会で関係した機関を通して人材を確保。

〔取引関係〕

- ・大正ものづくりフェスタ出展企業間や来場企業との取引が成立。
- ・工場見学会参加者からの商談が持ち込まれ、取引が成立。
- ・大阪産業創造館ビジネス倍増プロジェクト受入により大口取引が成立。
- ・展示会来場会社と継続的な取引関係の構築。
- ・オープンファクトリー参加者から DIY 用材料の受注。
- ・区内の病院から新型コロナウイルス感染症対策備品を受注。「りびんぐラボ大正」に企業が集結し 24 時間以内に設計、納品。

〔自社 P R 関係等〕

- ・工場見学やメディアへの露出により、従業員のモチベーションアップや社内清掃の習慣による安全な職場環境づくりを達成。また、取引先や従業員家族にとって良い P R の場となる。
- ・大正ものづくりフェスタで地域の子どもたちや保護者が楽しみながら、自社について知ってもらうことができた。
- ・地域貢献活動が企業イメージアップに繋がり、金融機関や取引先などの評価が上昇。
- ・実行委員会事業参加を契機に若手経営者間のネットワークが形成された。

(2) 地域貢献面

- ・大正区災害時サポーターズ制度の登録企業が増加し、地域の復旧活動内容の充実。
- ・大正区水防団へ企業が加入し、防災活動が充実。
- ・事業に賛同頂いた企業から防犯カメラの寄贈設置。
- ・実行委員の一人が、大阪府立泉尾・大正白稜高等学校(現、大阪府立大正白稜高等学校)学校運営協議会委員に就任。



西淀川区マスコットキャラクター
に～よん



大正区マスコットキャラクター
ツージィ



港区マスコットキャラクター
みなりん

令和4年度大正・港・西淀川ものづくり事業実行委員会事業報告(概要)
(事務局：大阪市大正区役所地域協働課内（地域協働）(☎06-4394-9942))
大正区ホームページ [大正区ものづくり](#) で [検索](#)